

## 福島へ行ってきました

地震と津波、そして原発事故の3つが重なった被災地、福島へ行ってきました。前代未聞の被災から前を向いて歩きだした方々と語り合う機会がありました。東日本復興支援財団の方々とファシリテーター仲間と財団のお手伝いをしている友人にはたいへんお世話になったツアーでした。

### ☆福島市内の現状は…

街中にある公園は、全面立ち入り禁止や、木や草のあるところだけが立ち入り禁止の表示と共にロープが張られている公園があったりしました。そして公園にはモニタリング・ポストがありました。



小学校1年生の女の子に「草のあるところを歩いちゃだめだよ」と注意されました。（この子も本当は歩きたいのだろうなあ。）



一見すると普通の町と変わらないのですが、“目に見えないもの”が町を覆っているのです。目に見えないことが放射線に対する意識の差を生み、地域の、家族の中での分断を引き起こしてしまっているそうです。



### ☆分断を越えようとしている方々も

自主避難をしているママの会の発起人、私たちの復興は「ここで生きたい街」にすることと決意して活動している若い女性たち、対話で地域の分断を乗り越えようとしている市民の方々、そんな素敵な方々と語り合いました。

### ☆ファシリテーションの可能性

分断されてしまった心を一つにつなぎ合わせるための対話の場をつくること、みんなで集まって語り合う、本音を言える場をつくる、そんな場面ではファシリテーションがとても役立つことを痛感してきました。

発災から避難、復興の各場面ではファシリテーションのスキルをもった人がたくさんいることが求められると思いました。

☆ファシリテーションのスキルを一人でも多くの方が知ってくださるようにがんばろう！と思いました。